

茎の先に咲く、ナズナに似た小さい花。

< 植物名 >

エティオネマ
モロッコナズナ
総称

水やり

水やりは土が乾燥したら与えるくらいでよい。

置き場所

日当たりと水はけが良い場所を好む。少し乾燥気味の場所がよいため、風通しがよいところを選ぶ。

用土肥料

花や茎がだらしなく伸びてしまうため、肥料分や水分が多い状態は避ける。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

特記事項なし。

使い方 鉢植え、花壇、ロックガーデン

学名 Aethionema

英名 stonecress

属名 エティオネマ

科名 アブラナ

性状(分類) 一年草、多年草

原産地 地中海沿岸

花の色 紫、ピンク、白、黄、藤

開花期

購入時期

草丈 20～30cm

ID 175

季節

JFコード 44363



冬越しと置き場所

もともと地中海沿岸に生息する植物であるため、日本の高温多湿の長雨にはあまり強くない。その点、乾燥には強い。日当たりと水はけが良い場所を好む。少し乾燥気味の場所がよいため、風通しがよいところを選ぶ。

その他の解説

エティオネマは種間雑種が出来やすいので、種の同定は難しいことが多い。花や茎がだらしなく伸びてしまうため、肥料分や水分が多い状態は避ける。

特徴1

少し肉厚の細い葉と、茎の先にさく小さい花がナズナを思わせる。花や茎がだらしなく伸びてしまうため、肥料分や水分が多い状態は避ける。水やりは土が乾燥したら与えるくらいでよい。

特徴2

少し肉厚の細い葉と、茎の先にさく小さい花がナズナを思わせる、アブラナ科の植物である。かわいらしい花を咲かせるが、草丈はあまり高くないので、ロックガーデンに向いている。「エティオネマ」とはギリシア語で「焼いた糸」という意味があり、おしべの形からつけられた。